

教科	調理栄養	科目	調理実習	単位数	3		
学年	1	科	調理栄養	専攻・コース			
教科書	調理実習		副教材				
学習到達目標	基礎的な調理の知識や理論を理解し、基礎的な調理技術を身につける 食物検定3・4級合格を目指す。						
評価の観点	調理の目的や食品の性質、調理の基本操作、廃棄率など基礎的な調理の知識や理論を理解し、技術を習得できる。						
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考			
前	4	・衛生、安全 ・包丁（種類と使い方） ・ご飯の炊き方	・調理実習における衛生面での注意点を理解する。手の洗い方を習得。 ・包丁の種類と持ち方を理解し、正しい扱いができる。 ・水と加水量・火加減などを理解し、鍋でご飯を炊く。				
	5	・切る（半月切り） ・計量 ・基本の酢の物 ・だしの取り方（みそ汁）	・きゅうりの半月切り（30秒で50枚） ・正しい計量ができる。 ・調味料と食材の合わせ方を理解する。 ・正しくだしを取る。				
	6	・野菜の切り方 ・味付き、具入りのご飯 ・基本の煮物 ・温泉卵	・基本的な野菜の切り方を理解する。 ・ご飯の炊き方（応用）ができる。 ・煮物をする際の食材の切り方や工程を理解し、実践できる。 ・温泉卵を正しく作る。				
	7	・イカの開き方 ・すまし汁 ・和え物（白和え） ・揚げ物 ・蒸す（素材を蒸す）	・イカを正しく開く ・すまし汁に使用する具材の種類や効果を理解する。 ・和え衣の種類や配分を把握する。 ・揚げ衣の種類と役割を理解し、火加減に留意して揚げる。	食物検定4級実施			
期	8						
	9	・焼き物（魚） ・鰯の処理 ・野菜の切り方（テスト） ・卵焼き ・五目ずし	・魚焼き器の使用方法を理解する。 ・鰯のゼイゴ、エラ、内臓を取り除ける。 ・基本的な野菜の切り方ができる。 ・卵の調理特性を理解し調理できる。 ・すし飯の作り方と生魚の扱いが正しく理解できる。				

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考
10		・鶏肉のソテー ・オムレツ ・基本のサラダ・ドレッシング ・ゼリー ・パンナコッタ	・鉄のフライパンの扱い方を理解する。 ・生野菜の扱い方を理解する。 ・ドレッシングの作り方を理解し、油と調味液を乳化させることができる。 ・ゼラチンを使った冷やし固めるデザートについて理解する。	
	11	・マヨネーズソース ・ハンバーグ ・マセドワーヌサラダ	・卵、酢、油を乳化させることができる。 ・ひき肉の扱い方を理解し、ムラなく焼くことができる。 ・野菜を切りそろえることができる。	
12		・食物検定実技練習 ・辻調グループ模擬授業	・食物検定の課題に沿って練習を行う。 ・専門学校の授業を体験し、調理師免許取得に向け意識を高めるとともに、進路についての考えを深める。	食物検定3級実施
期	1	・チョコプリン ・ポワレ ・ピザ ・スープ	・オーブンを使用した蒸し焼きの方法を理解する。 ・食材や目的に合わせた焼き方を理解する。 ・酵母菌を使用した発酵の基礎を理解し、生地を正しく扱うことができる。 ・西洋料理における「だし」について理解する。	
	2	・チャーハン ・皮蛋豆腐	・中華鍋の扱い方を理解する。 ・特殊食材の扱い方や特徴を理解し、味を体感する。	
3		・焼壳 ・蔬菜豆腐湯 ・蛋黄醬蝦仁（エビのマヨネーズ和え）	・皮に餡を包む操作ができる。 ・蒸し器の使い方を理解する。 ・「（湯）タン」の種類や味つけについて理解する。 ・中国料理における揚げる、炒める操作の特徴を理解し、実践できる。	